



# せいひ会だより

2015年(平成27年)  
1月1日発行  
<第177号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>

## 謹賀新年



本年も  
どうぞよろしく  
お願い致します。  
平成27年  
せいひ会職員一同

## 12月の行事

- 03日・17日 書道教室(元亀・通所)
- 07日 クリスマス忘年会(GH)
- 08日 陶芸教室(通所)
- 11日 避難誘導訓練(寿限無)
- 15日 誕生会(元亀・通所)
- 16日 通報訓練(風和)
- 19日 運営推進会議(GH)
- 23日 消火訓練(元亀)
- 24日 クリスマス会(寿限無)
- 25日 クリスマス会(風和・じゅげむ)
- 25日 クリスマス忘年会(通所)
- 26日・27日 もちつき(各事業所)



- 01～07日 初詣(各事業所)
- 07日・21日 書道教室(元亀・通所)
- 12日 陶芸教室(通所)
- 19日 誕生会(元亀・通所)
- 23日 消火訓練(風和)
- 29日 消防訓練(寿限無)



### インフルエンザ等の感染予防について

インフルエンザやノロウイルス等が流行する時期となりました。施設来院時の手指消毒やマスク着用等、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

## 1月の行事予定

☆12月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



西彼町上岳に、6人兄弟の長女として生まれる。両親は百姓をしていたが、あまり手伝いなどはしなかったそうだ。

小学校は1～3年生までは大串小学校に通っており、4～6年生までは上岳小学校に転校となった。通学には1時間の道のりを歩いて通っていた。「桜の木の枝をとったり、道草をしながら学友とゆっくり遊んで帰ったのが毎日の楽しみでした」とのこと。

25歳の頃、同じ上岳の方と結婚。4人の子宝に恵まれ、旦那様と百姓をしながら生活をしていた。

出かけていたそうだ。「中でも踊りが特に好きでした」とのこと。50代の頃に怪我をされ入院される。

現在、元亀の里に入所されている。「動けんようになつたよ」と言われながらも、リハビリに励まれている。今では、「調子が良く、リハビリが楽しみです」とのこと。今の若い人達に何かありますか?の問い合わせに、「今の若い人は昔と比べると恵まれているね。私たちの時代にはなかったものがたくさんあるからうらやましい」と話されていた。

これからもりハビリを頑張って下さい。

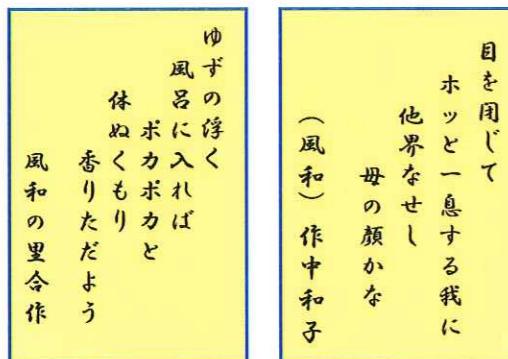
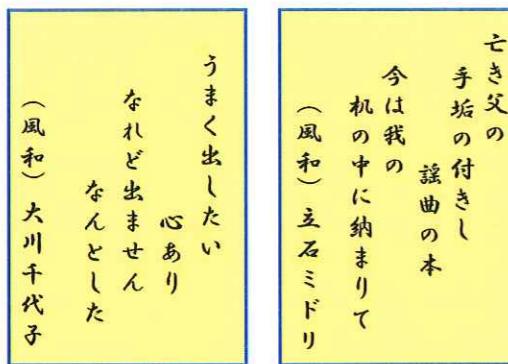
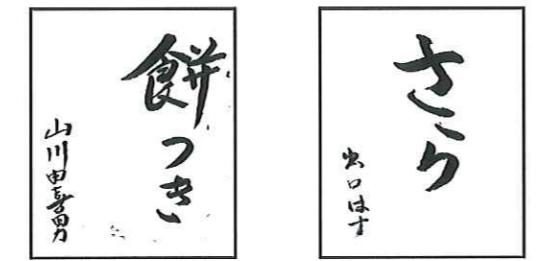
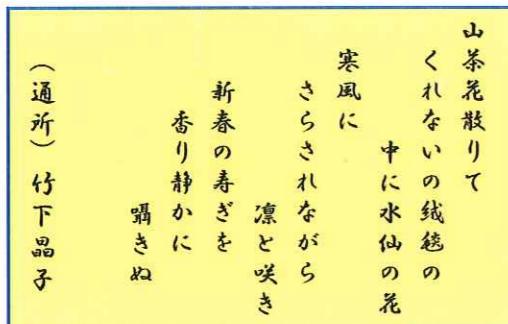
お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space

バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

## うたの時間



## 消防訓練

12/23、元亀の里で消防訓練を行いました。機器や設備の使用方法等の説明後、屋外で消火器を使用したり、施設内の消火用散水栓を使ったり実際に体験を行いました。非常時に備え、各自が確認を行う機会となりました。



## メリークリスマス!

12/25、各事業所のクリスマス会。寄せ鍋をみんなで囲んだり、マジックショーが行われたりと、それぞれのクリスマスを楽しみました。サンタクロースから送られた素敵なプレゼントには、皆さんのが輝いていました。



## もちつき



年も押し迫った12/26・27、事業所ごとに餅つきを行いました。「よいしょー！よいしょー！」の掛け声と手拍子が聞こえると、杵を持つ手にも力が入ります。つきあがったお餅で、鏡餅とあんこもちができあがり！口の周りが粉で白くなりながらも、つきたてのお餅をみんなでほおばりました。

### オヤジ 敏美の独り言

### 〈怒りのパワー?〉



この前、とある科学者が「『怒り』を『パワー』に変えてやってきた。」と、発言していた。

「ん~、どうなんだろう？」と、正直疑問に思った。誰でも「怒り」を覚える事はある。しかし怒りをパワーに変えて事をなしたとしても・・・。

何か違うような気がした。

「パワー」を生み出すのは、やはり「優しさ」であったり「希望」であったり・・・であってほしい。「怒り」は所詮「怒り」しか生まないような気がする。

今の世の中、全てが逆行していて近々「戦争勃発」するのではないか?と危機感を覚える。(心配)

「聖戦という名の虐殺」や「身内での殺傷事件」等を最近、ニュースでよく見る。(悲涙)  
全ては「何かしらの怒り」から・・・。

### 【短気は損氣】・【得もなれば損もない】

激動の明治・大正・昭和を生き、平成で100歳を超えた、人生の大先輩から「満面の笑みを添えて」もらった深い言葉を思い出す。(敬礼)

どうぞ今年は、皆様にとって『優しさに包まれた希望の年』・『幸多き年』になりますように。(祈)